



八月八日、松本城大手門枿形跡広場で、中央地区を中心とした夏祭りが行われました。焼きそばやかき氷、中学生が作ったフルー

大盛況の枿形跡ひろば 中央地区 縁日だヨ!全員集合

中央地区夏祭り実行委員会事務局

花火を
楽しむ
ことが
でき、
子供た
ちの楽
しげな
声が始
終響い
ていま
した。

また、松本市の伝統文化であるぼんぼん・青山様が地区合同で行われました。小学生が約50人参加し、青山様のおみこしを



男の子が元気にかつぐ後ろに浴衣を着てぼんぼん飾りを頭に付けた女の子たちが続きます。枿形跡広場から出発し、縄手通り、上土通り、松本城、大手通り、西堀などを練り歩き地域住民や観光客を楽しませました。

「笑顔で焼きそばをほおぼる人々、屋台の間を駆け回る子供たち、「やってよかったね」の声がしみじみと聞こえてきました。初めての中央地区縁日、「コロナを挟みほとんど初めての地区合同ぼんぼん・青山様は、総勢70人以上のボランティアによって支えられ、夏祭りは大盛況のうち

で驚きました。周るコーでも長く休憩所が松本城で水分補給してから記念写真まで撮って頂き立派な写真になりました。その後の枿形広場での夏祭りもお客さんが沢山いて焼きそばやいなり寿司、綿あめもみんな大盛況で美味しかったです。何よりボランティアで手伝っていたスタッフさんのお

今回、「中央地区縁日だよ! 全員集合!」に携わったのは、松本大学で取得できる社会教育士資格の実習で大手公民館へお世話になった際、夏祭りの企画・運営のお話をいただいたのがきっかけです。

当初は、松本市の「ぼんぼん・青山様」について全く知らなかったこともあり、企画・運営が私にできるのか、不安な気持ちがありました。しかし、地域の方の行動力とやる気に支えられました。実施にあたり、①運営の負担軽減、②子どもたちに楽しんでもらう、という考えのもとに企

私たちが学生の力も地域の活力の底上げになればいいなと考えています。

当日は、多くの子どもたちや一般の方が来場してくださり、大盛況でした。今回の夏祭りのあとすぐに「来年はどうしようか」と考えている自分がいます。ぜひ来年に向けてみなさんのお力をお借りしたいですし、私も運営に携わりたいいなと思っています。

企画・運営に携わっていただいた多くの方々に、この場をお借りして感謝を申し上げます。

●学生ボランティア 川上 夏希

ちに幕を閉じました。

●学生ボランティア 杉江 夏実

今年初めてぼんぼんに参加させていただきました。私は3年生で歩く時に小さい子と手を繋いで歩きました。歩く距離は結構長かったけど、伝統行事に参加することができてよかったです。夏祭りも色んな屋台が出ていて、500円チケットをいただいて友達と楽しくまわってよかったです。最後の花火もよかったです。また来年も参加できたらと思います!

●丸山 紗奈(小3)

8月8日に中央地区夏祭りが開催されて、小学3年生の娘と一緒に参加させていただきました。青山さまとぼんぼんの参加者が100人近くいたそうで、私の子供の頃にやっていたぼんぼんとは違い、人数がとても大人数で驚きました。周るコー



陰で、子どもたちは最後の花火までとても楽しい時間を過ごさせていただいて感謝です。

来年もまた開催されましたら、是非参加したいと思えます。ありがとうございました。

●丸山紗奈さんのお母様

面を行いました。これらは近年の地域行事における課題です。運営の負担が多く楽しめなければ継続は難しくなり、子どもたちが参加したくなるような行事にすることで、子どもたちの地域での思い出が、将来地域に関わった時に地域へ還元されればいいなと考えています。

今回の企画には地域の方や、中学生、高校生だけでなく、松本大学や信州大学の学生にも携わってもらいました。「コロナ禍により、地域で大学生が活躍する場が減少してしまいました。今回のように地域行事の企画に携わることが、地域につながるきっかけになるのではないのでしょうか。

長元坊 チョウゲンボウ

サルスベリの花が満開の暑い時でした。物干しに蜂が巣を作りました。

シャワーヘッドの形をした薄茶色の小さな巣です。巣の形からアシナガバチのようです。おとなしい蜂だそうです。2匹が巣に張り付いていますので、取らずに見守ることにしました。

やがて巣穴の4箇所を卵が産んだのでしょうか。白い幕が出来ました。数日して物干しの上からバリバリと音がします。見上げると黄色スズメバチが巣を壊し蜂の子を食べているのが見えました。

昆虫の世界も厳しいのですね。それでも2匹は巣に張り付いていて、こんどは3箇所白い幕が見えました。それもやはりなくなりました。それでも2匹は巣を離れませんでした。やがていなくなりました。白っぽくなった巣だけが残り哀れです。

スズメバチにとっては、さしずめ土用のうなぎだったのでしょう。



私の履歴書 瀧澤 功

このところ「大リーグの大谷選手」の大きな数字の話、数字の話題が多く、少々ゲンナリ感。そこで小さな貧しい話を得意げに書いてみます。

六年前となりますが私の親友のお母さんが亡くなられた時、弔辞を依頼され書いたものです。一部を抜粋して書いてみます。

『お母さんとのご縁は、長男泉君（親友）の中学時代の同級生として親しくさせていただいた、ほぼ六十年前からです。お母さんは我が家の貧しさやと母の病弱を知ってか知らずか、度々遊びに行く私を優しく迎えてくれました。』

「瀧澤君、よりー」独特の優しい声は子供ながらに心地よく清楚なお姿には自分の母とは違う美しいお母さんが印象的でした。その後自分は東京「かつ吉」へ、しかしまもなく「うつ病」となり静養が必要とのこと一時帰郷。実家には余裕が無く酒井屋さんで一ヶ月余りを家族同様の生活をさせていた。ただおかげさまで完治し再

び東京へ：昭和四十八年「かつ吉本店開店一ヶ月後」には親友泉君の婚儀に際しご招待と司会をお願いされたのですが、当日になってもお金がなく五千円の祝儀が用意できません。そこで恥も外聞もなくお母さんに事情をお話しし「貸してください」とお願いをしました。一瞬たじろがれるも驚きを隠され、後に祝儀袋も添えて「これで出しなさい」と言われ準備をしてくださいました。

あの時の自分の姿の情けなさ、お母さんの大きなお姿が今でも忘れられません。その後二十年四十年と年月は過ぎ度々お会いする時もありました。

酒井屋さんへお邪魔した時、また路線バスの中で。そんな折必ずいただく言葉が「瀧澤君よかったね、よかったね」でした。そんなお心にわたしは救われ今があります。：」

当時二十六歳。今七十五歳。ほぼ五十年前の話です。今年はおつ吉創業五十年となりますが思い出はそんなことばかり。

町内公民館視察研修 上田方面の仏閣巡り

七月十日、新博物館前に集合の二十九名は梅雨の晴れ間、道路工事の為高速で上田に行きました。午前に四箇所、午後二箇所の古利を見学しました。

- 一 安楽寺 雨乞い祭りの青竹に反物をくくりつけた岳の幟(たけのぼり)が家々に立っています。日本唯一の八角形の国宝の三重の塔です。小ぶりですが白木の歴史を感じる塔でした。
- 二 常楽寺 北向き観音の本坊であり霊像が出現した場所には小さな石造りの多宝塔がありました。
- 三 中禅寺 信州最古の木造建築茅葺屋根で正方形のお堂です。仁王様もありました。
- 四 前山寺 高さ十九・五メートルの白木の三重の塔(重要文化財)が美しくそびえていました。お寺で撞く十二時の鐘の音を聴きながら名物のくるみおはぎをいただきました。
- 五 信濃国分寺 蘇民将来符(招福除災を祈る護符)で有名なお寺です。本堂裏の蓮田には紅白数千の花が

見ごろを迎えていました。六 妙見寺 四方鳴龍のうち南龍です。天井に描かれた二匹の竜頭の下で手を打つと確かに龍鳴が聴こえました。帰りは鹿教湯経由で帰りました。上田にはまだまだ古利があります。また行ってみたいと思えました。公民館はじめ役員の方々の行き届いたお気遣いありがとうございました。(S・A)

取材帳

恒例の居酒屋公民館が去年に続くバーベキューで盛り上がりました。公民館前の設営には信州大学、松本大学の学生さんたちが手伝ってくれ、焼き肉用コンロが置かれ、並べられた長机には子ども達も思い思いに座を占めて、会食会がスタートしました。始まって間もなくそれまでパラパラしていた雨が急にドシャ降りとなり、短い時間だったが急いでアントを張り避難しました。雨のハプニングはありませんが、皆、おいしいお肉をほおばりながら歓談のひと時を過ごすことが出来ました。

宵間に包まれる頃、第二回目のバーベキュー居酒屋は終了、全員の後片付けで幕を閉じました。(K・T)